

## 令和4年度(2022年度) とよなか市民環境会議活動方針

世界では、平成27年（2015年）9月に「持続可能な開発目標（SDGs）」が発効され、同年12月に採択された「パリ協定」では、すべての参加国に温室効果ガス排出削減の努力を求める枠組みが作られました。

わが国では、平成28年（2016年）5月に政府一体となった実施体制として、「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を設置しました。さらに令和3年（2021年）10月には、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」などが明記された「地球温暖化対策計画」をまとめ、豊中市をはじめ全国の多くの自治体がゼロカーボンシティを宣言しています。

豊中市では、国の新たな「地球温暖化対策計画」や社会情勢を反映するため、令和4年（2022年）3月に「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）～とよなか・ゼロカーボンプラン～」を策定しました。そのほか、隠岐の島町・能勢町の両町と「森林環境保全に関する自治体間連携協定」を、NATS4市（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市）では「地球温暖化対策の自治体間連携協定」を締結し、府県を超えた広域的な施策を展開するなど、持続可能な社会を構築するための取組みを進めています。

私たち、とよなか市民環境会議は、「豊中市環境基本計画」と車の両輪のように一緒に推進する「豊中アジェンダ21」の第3次計画を平成30年（2018年）6月に策定しました。今年度は、「第3次豊中アジェンダ21」の計画期間の中間年度となることから、見直しを行います。

「第3次豊中アジェンダ21」の見直しでは、市民・事業者・行政で構成する策定委員会にて検討を進めるとともに、ワークショップ等を開催し、広く市民のみなさんの意見を募ります。

併せて、構成団体それぞれが、これまで培ってきた協働とパートナーシップを基調に、2つの計画が共有する望ましい環境都市像の実現や環境目標の達成に向けて引き続き取組みます。また、とよなか市民環境会議の活動を強化し、「第3次豊中アジェンダ21」の推進を充実させることで、より多くの人が行動提案を実践し、ひいてはゼロカーボンシティの実現や、SDGsが掲げる課題解決にもつながるよう、活動計画に基づく取り組みを進めます。

## 令和4年度(2022年度)

### とよなか市民環境会議活動計画

#### 1. 第3次豊中アジェンダ21の推進

- (1) とよなか市民環境会議の運営及び活動の強化
- (2) 第3次豊中アジェンダ21の普及・啓発・進行管理
- (3) 第16回「とよなかエコ市民賞」の開催
- (4) とよなか市民環境展2022の共催
- (5) 環境学習の推進

#### 2. NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21との連携・協働

地球環境を守る市民行動計画の着実な推進

#### 3. 第3次豊中アジェンダ21の見直し

- (1) 第3次豊中アジェンダ21策定委員会の開催
- (2) 第3次豊中アジェンダ21見直しに係るワークショップ等の実施

#### 4. 豊中市環境行政との連携・協働

- (1) 第3次豊中市環境基本計画の推進
  - ・協働の取組みに関する意見交換会の開催支援
- (2) 環境交流センター事業の支援

#### 5. 市民・事業者・NPO・行政による地球温暖化防止活動の推進

「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）」の推進

#### 6. 循環型社会の構築

緑と食品のリサイクルプラザで製造される「とよっぴー」を通じた食育と資源循環の推進